

島しょ地域の子どもたちによるフットサル大会



愛らんどリーグ2019が開催されました

(公財)東京市町村自治調査会協賛事業の、島しょ地域の子どもたちのフットサル大会「愛らんどリーグ2019」が、2019年8月3日(土)・4日(日)の2日間、東京都八丈町で開催されました。

愛らんどリーグは、伊豆諸島・小笠原諸島の少年少女たちが、フットサル大会等を通して相互の交流を深めることを目的に、1994年から毎年開催されています。今年度は、都内島しょ地域の8町村9島10チームの子どもたちが参加し、交流を深めました。

島を背負って大奮闘! 「フットサル大会」

大会当日、最初は緊張した面持ちの子どもたちでしたが、試合が始まると、きれいに整備されたグラウンドで一生懸命にボールを追っていました。FC東京によるサッカー教室では、コーチと一緒に試合形式のゲームにも取り組みました。

最後まであきらめずに戦う子どもたちの姿に、各チームの保護者やコーチ、各島の町長・村長などから、大きな声援が送られました。



大好きな島をPR! 「島じまん発表会」

8月3日には、八丈町立三根小学校において、「島じまん発表会」が行われました。各島の子どもたちが決められた時間の中で、島の魅力や特徴を紹介しました。

どの島のチームも創意工夫を凝らしており、会場は大いに盛り上がりました。



大会結果

フットサル大会

1位	八丈島FCフェニックス	八丈島
2位	大島マリンスFC	大島
3位	三宅FC	三宅島

島じまん発表会

最優秀賞	スール青小サッカークラブ	青ヶ島
優秀賞	大島マリンスFC	大島
優秀賞	FC利島	利島
優秀賞	式根島SC	式根島



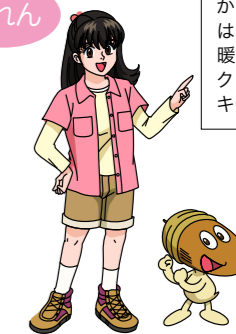
オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された取組を紹介します。

かれん



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

シーナ

① あきる野市

うちエコ診断

あきる野市では、昨年度から市民を対象に環境省が進める「うちエコ診断」を実施しています。「うちエコ診断」は、受診者が提出した事前調査票をもとに、「うちエコ診断士」が専用のソフトを使って、地域の気候や各家庭のライフスタイルに合わせたオーダーメイドの省エネやCO₂削減の対策を提案する制度です。

昨年は、市役所の会議室を会場とし、7名が診断を受け、「具体的な省エネ対策を新たに知ることができた」と好評でした。

今年度は受診者の増加を目指し、家庭からのさらなる温室効果ガス削減に取り組んでいきます。

【問合せ先】あきる野市 環境政策課 TEL 042-595-1110



② 西東京市

環境フェスティバル

西東京市では、毎年5月の最終日曜日に、市民や市内の事業者などが参加する環境啓発イベントを開催しています。今年度は、5月26日に西東京いこいの森公園で実施しました。

今回のテーマは「私たちがつくる、SDGs^{*}で持続可能な世界」で、パネル展示やクイズを通して、SDGsを楽しみ理解してもらいました。さらに、CO₂削減のため、市の補助金を利用したLED照明への取替えを呼びかけました。その他、ゴーヤの苗の配布、リサイクル自転車の抽選販売、スーパーボールすくい、猫の譲渡会、0円均一(市民活動による不用品の無償譲渡会)などを行い、約4,600人もの方にご来場いただきました。

*SDGs(持続可能な開発目標)…2015年9月の国連サミットで採決された2016年から2030年までの国際目標

【問合せ先】西東京市 環境保全課 TEL 042-438-4042



③ 小笠原村

自然環境に配慮した遊歩道補修整備事業

小笠原村には世界自然遺産に登録されるほどの貴重な森がある一方で、それらの森は無人島に多く、親しむ機会が少ないのも現状です。そこで、村では昨年の返還50周年を契機に、村民や来島者が自然を身近に感じられる場と機会の創出を図った「村民参加の森づくりプロジェクト」を始めました。

その中で、森を周遊する散策路や森を手入れするための作業道として利用するために、林内で伐採した外来樹木のアカギを活用した「近自然工法」による道づくりを、専門家のアドバイスを受けながら実施しました。ほかにも、村民参加による「道づくり体験」も行っています。

【問合せ先】小笠原村 環境課 TEL 04998-2-3111

